

1. 科目名 (単位数)	子どもの保健Ⅱ (1単位)	3. 科目番号	SSOT2407 SCOT2407 SJMP2116 SJMP2117
2. 授業担当教員	橋本 由利子・佐野 葉子		
4. 授業形態	技術演習、講義、グループワーク、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育者として子どもの健康と安全を守るために必要な基礎的知識や実践力を身に付けることをねらいとしている。「子どもの保健Ⅰ」で学んだ知識を基礎とし、子どもが健康的に生活するうえで必要な生活環境要因について理解し、総合的な援助技術の習得を目指す。</p> <p>技術演習では、子どもの発育の観察と評価、日々の健康状態の観察、健康的な日常生活習慣形成のための適切な養護、一般的な症状に対する看護の方法、応急手当（一次救命処置を含む）など、保育現場で必要とされる技術をモデル人形を対象として実践する。</p> <p>グループワークでは、事故防止対策と安全教育、歯磨きや手洗いなどの健康教育について検討し、発表することで集団保育における事故防止や健康管理・健康教育の実践力を身に付ける。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発育や健康状態の観察について理解し評価と支援を行うことができる。 2. 子どもの一般的な症状に対する看護の方法について理解し、説明することができる。 3. 子どもの事故の特徴と事故防止の方法について理解し、説明することができる。 4. 応急手当（一次救命処置を含む）の実際を学び、実施することができる。 5. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し、説明することができる。 6. 子どもの健康と安全を守る保育者としての必要な態度を表現することができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1) 毎回の授業で学習した内容について教科書のワークを用いて復習する。 2) 日赤幼児安全法について、学習した内容と感想を書く（1000字程度）。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 榊原洋一監修・小林美由紀著『子どもの保健演習ノート』改訂第3版、診断と治療社。</p> <p>【参考書】 今井七重編『演習 子どもの保健Ⅱ』(株) みらい。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発育や健康状態の観察について理解し、評価と支援を行うことができる。 2. 子どもの日常生活の養護の方法について理解し、実施することができる。 3. 子どもの一般的な症状に対する看護の方法について理解し、説明することができる。 4. 子どもの事故の特徴と事故防止の方法について理解し、説明することができる。 5. 応急手当（一次救命処置を含む）の実際を学び、実施することができる。 6. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し、説明することができる。 7. 子どもの健康と安全を守る保育者としての必要な態度を表現することができる。 <p>○評定の方法 期末テスト 50%、レポート 20%、授業態度 30% 上記のほか、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位修得の条件である。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>子どもの保健Ⅱは保育中の乳幼児の命と健康を守るための技術を学ぶ重要な科目です。保育者は乳幼児の普段の状態をよく把握し、普段と少しでも異なる症状があった場合にはそれをいち早く察知し、適切に対処しなくてはなりません。また、乳幼児の養護や看護を行う場合には愛情を持って温かく接する事が大切です。一つ一つの実習を誠心誠意、真剣に行ってください。受講生は以下のことを必ず守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業は、常に高い緊張感と集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2) 理解できないことはそのままにしておかないで、積極的に質問すること。 3) 欠席・遅刻・早退をしないこと（やむを得ない場合は必ず文書で申し出ること）。 4) 授業中の私語、携帯電話の作動は絶対にしないこと。守れない場合は退出してもらいます。 5) 実技・演習は、事故のないように気を引き締めて行うこと。 6) 実習機材の準備・後片付けを積極的に行うこと。 <p>講師は以下のことを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生が積極的に授業に参加（発言、発表）できるように双方向対話型の学習環境を作る。 2) 明らかに授業態度が悪いと判断された場合は厳格に対処する。（その場合、たとえすべて出席していてもF評価になることもあるので注意すること。） 		
13. オフィスアワー	授業開始時にお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (子どもの保健Ⅱを学ぶにあたって)	事前学習	シラバスを読んでおく。
		事後学習	自己紹介用紙を記載する。
第2回	胎児期の発育について (受精してから出生するまで)	事前学習	胎児期の発育について考えてくる。
		事後学習	自分の母子健康手帳を見て必要事項を自己紹介用紙に記載する。
第3回	第1章 子どもの発育を知ろう (身体発育の観察と評価)	事前学習	テキスト pp2~17 を読んでおく。
		事後学習	第1章おさらいテスト問1・問2
第4回	第1章 子どもの発育を知ろう	事前学習	テキスト pp. 4~7 を読んでおく。

	(身体発育の測定方法と評価)	事後学習	第1章おさらいテスト問3
第5回	第2章 子どもの発達を知ろう (運動機能の発達とその評価について)	事前学習	テキスト pp.26～36 を読んでおく。
		事後学習	第2章おさらいテスト問1・問2
第6回	第3章 子どもの健康状態を知ろう (子どもの生理機能の発達を理解する)	事前学習	テキスト pp.40～42 を読んでおく。
		事後学習	第3章おさらいテスト問1①～⑦、⑨問2①～⑤、問3
第7回	第5章 子どもの保育環境づくり (屋内の衛生管理など)	事前学習	テキスト pp.74～78 を読んでおく。
		事後学習	第5章おさらいテスト問①②⑩⑪⑫
第8回	第4章 日常における養護の方法 (抱き方・おんぶの仕方・寝かせ方・外気浴における留意点)	事前学習	テキスト pp.52～53、pp.62～64 を読んでおく。
		事後学習	第4章おさらいテスト問1④、問3⑩～⑮
第9回	第4章 日常における養護の方法 (母乳と人工栄養、離乳食の進め方)	事前学習	テキスト pp.53～55 を読んでおく。
		事後学習	第4章おさらいテスト問1①②、問2①～③
第10回	第4章 日常における養護の方法 (調乳の実際、手洗いの基本)	事前学習	テキスト pp.53～55、p61 を読んでおく
		事後学習	調乳の方法と留意点について復習する。
第11回	第4章 日常における養護の方法 (衣服の着せ方、排泄のさせ方)	事前学習	テキスト pp.56～59 を読んでおく。
		事後学習	衣服の着せ方について復習する。
第12回	第4章 日常における養護の方法 (沐浴・入浴のさせ方)	事前学習	テキスト pp.59～61 を読んでおく。
		事後学習	入浴のさせ方について復習する。
第13回	第4章 日常における養護の方法 (口腔内の衛生)	事前学習	テキスト pp.56～57 を読んでおく。
		事後学習	第4章おさらいテスト問2④⑤
第14回	第4章 日常における養護の方法 (口腔機能の発達)	事前学習	自分の歯がいつ頃生えてきたか考える。
		事後学習	歯と口の健康の重要性について復習する。
第15回	第8章 いざというときの応急処置 (傷害時の応急処置、エビペンについて)	事前学習	テキスト pp.126～130 を読んでおく。
		事後学習	第8章おさらいテスト問1、問2
第16回	第6章 よくかかる病気について知ろう (冷却用具の種類と作り方、薬の与え方、嘔吐物の処理)	事前学習	テキスト pp.82～86 を読んでおく。
		事後学習	第6章おさらいテスト問1、問2、問3、問4
第17回	救急蘇生法(乳幼児の救急救命処置)	事前学習	テキスト pp.122～128 を読んでおく。
		事後学習	第8章おさらいテスト問4
第18回	救急蘇生法(乳幼児の救急救命処置)	事前学習	テキスト pp.122～128 を読んでおく。
		事後学習	アサイメント2
第19回	第7章 よく起こる事故について知ろう (乳幼児に起こりやすい事故とその特徴)	事前学習	テキスト pp.106～109 を読んでおく。
		事後学習	第7章おさらいテスト問1～問3
第20回	第7章 よく起こる事故について知ろう (安全への配慮・安全管理・安全教育)	事前学習	テキスト pp.109～118 を読んでおく。
		事後学習	グループで製作する教材の準備をする。
第21回	安全衛生に関する教育と教材の作成(グループワーク)	事前学習	グループで製作する教材の準備をする。
		事後学習	時間内で教材ができあがるように準備する。
第22回	安全衛生に関する教育と教材の作成(グループワーク)	事前学習	時間内で教材ができあがるように準備する。
		事後学習	来週の発表に向けて発表の準備をする。
第23回	安全衛生教育のプレゼンテーション	事前学習	発表ができるようにグループ内で打ち合わせをする。
		事後学習	グループワークと発表の振り返り。
第24回	まとめ	事前学習	授業で配付されたプリントを整理する。
		事後学習	この科目で学んだことを振り返る。